AsiaNet 96648

**2022年スマートマニュファクチャリング報告書：  
アジア太平洋地域の企業は、世界で最もスマートマニュファクチャリングの採用に積極的**

「スマートマニュファクチャリング報告書」によると、調査に回答したアジア太平洋地域の企業の約9割が、  
スマートマニュファクチャリングをビジネスの成功の鍵と考えています。

シンガポール(2022年7月7日) /PRNewswire/ -- ロックウェル・オートメーション傘下の[Plex Systems](https://www.plex.com/) (<https://www.plex.com/> )は、クラウド型のスマートマニュファクチャリングを提供する企業で、第7回年次調査の結果として「スマートマニュファクチャリング報告書」を発表しました。[この調査](file:///C:\Users\moritam\Downloads\この調査) (<https://www.plex.com/resources/state-of-smart-manufacturing> )では、スマートマニュファクチャリングの採用率が2021年には世界中で50%加速し、この新技術が業界の重要な課題を解決していることが示されました。アジア太平洋地域の企業の93%は、スマートマニュファクチャリングを将来の成功にとって「非常に」または「極めて」重要だと考えており、北米地域(84%)やヨーロッパ・中東・アフリカ地域(75%)と比較して高い割合となっています。

スマートマニュファクチャリングに対する積極的な姿勢を反映し、アジア太平洋地域のほとんどの企業は、スマートマニュファクチャリングの採用を「今後7〜11か月以内」に予定していると回答しました。これは北米地域およびヨーロッパ・中東・アフリカ地域の大多数の回答である「今後1〜2年以内」と比較して、短い期間となっています。

今回の調査は世界規模で実施され、自動車、航空宇宙、食品・飲料、電子機器、消費財、プラスチック・ゴム、精密金属成形など、さまざまな業界の300社以上のメーカーを調査しました。[ハノーバー・リサーチ](https://www.hanoverresearch.com/) (<https://www.hanoverresearch.com/> )と共同で実施された今年のレポートは、世界のメーカー各社の動向、課題、将来の計画に関して貴重な洞察を提供しています。

「この報告書は、製造業に技術戦略の指標を提供し、スマートマニュファクチャリングのベストプラクティスを取り入れて競争力を維持し、事業を推進するのに役立つことを目的としています。拡張性のある技術戦略をとることで、段階的にソリューションを採用し、効果を得ることが可能です。製造業者はプロセスを合理化し、現代ならではの課題を解決しようとしているため、スマートな技術を使用して課題に対処し、現状を改善することに大きな価値を見出しています。」と、Plex Systemsの最高技術責任者であるジェリー・フォスターは述べています。

報告書の調査結果は、世界規模の感染症が製造業のこれまでの在り方を露呈し、その問題点を強調したことを示しています。熟練労働者の不足、競争、サプライチェーンの混乱は、今回の感染症による混乱でアジア太平洋地域の製造業が直面している上位3つの課題です。このことを念頭に、アジア太平洋地域の回答者の93%が、スマートマニュファクチャリングが自社の将来的な成功の鍵であると考えています。

「アジア太平洋地域の製造業は、感染症や東欧の政情不安などの世界的な危機に影響を受けています。世界の製造業生産高のほぼ半分を占めるアジア太平洋地域経済は製造業の主要なグローバルハブ [1] であり、パンデミック後の回復促進のためには、産業の成長が要となります」と、Plex Systemsのアジア太平洋地域営業リーダーであるスティーブン・チューは述べています。

「クラウド技術を使ったスマートマニュファクチャリングの採用は、アジア太平洋地域の企業が競争力を維持し、事業を拡大するために不可欠です。報告書の調査結果は、この地域の製造業が課題に対処し改善していくために、こうした技術を使用することに大きな価値を見出していることを示しています」とスティーブン・チューは付け加えました。

その他の主な調査結果は次のとおりです。

**・ スマートマニュファクチャリングの採用は世界中で加速しています。2022年末までに、75%の製造業者が何らかの形でスマートマニュファクチャリングを採用する見込みです。**テクノロジーと自動化は次世代の製造の在り方に欠かせないもので、スマートマニュファクチャリングの採用率は2022年も加速し続けるでしょう。

**・ 感染症拡大により、スマートマニュファクチャリングの採用が加速しました。**投資面で見ると、アジア太平洋地域の企業は、ビジネスプロセスの自動化、自動化されたプロセスの実施、サプライチェーン計画の実装を主に予定しています。

**・ 調査対象企業の半数以上が、製造技術を重要と認識しています。**調査に回答した全世界の地域の企業の69%が、製造実行システム(MES)を、スマートマニュファクチャリングの要素として最も重要とランク付けしました。エンタープライズ・リソース・プランニング(ERP)と設備パフォーマンス管理(APM)がこれに続き、品質管理システム(QMS)とサプライ・チェーン・プランニング(SCP)のすぐ上位にランクされました。

**・ 機械学習と人工知能(AI)は、企業が今後5年間に採用する最も中心的な技術です。**世界的に見ると、主に製品計画(46%)やプロセス最適化(44%)といった目的でデータが使用されていますが、アジア太平洋地域の企業の54%は、収集したデータを主にAIアプリケーションのために使用していることがわかりました。

**・ アジア太平洋地域の企業の50%以上が、リスク軽減のためにクラウドを採用しています。**クラウド技術の採用、サイバーセキュリティに関する脅威の管理、そして専門家によるコンサルティングサービスを利用して規制やコンプライアンスの問題に対応することは、リスク軽減戦略としてアジア太平洋地域の企業に広く取り入れられています。

報告書は、[plex.com/sosm](https://www.plex.com/resources/7th-annual-state-of-smart-manufacturing) (<https://www.plex.com/resources/7th-annual-state-of-smart-manufacturing> )よりをダウンロードしていただけます。

**ロックウェル･オートメーションについて**

ロックウェル･オートメーション（NYSE:ROK）は、産業用オートメーションおよびデジタルトランスフォーメーションのグローバルリーダーです。人々の創造力とテクノロジの潜在力を結びつけることで人の可能性を広げ、お客様の生産性を高め、地球に優しい技術を提供します。米国ウィスコンシン州ミルウォーキーに本社を置き、約25,000名の従業員が、世界100カ国以上の営業拠点でお客様をサポートしています。製造業におけるコネクテッドエンタープライズ実現の詳細は、[当社ホームページ](https://www.rockwellautomation.com/ja-jp.html)（<https://www.rockwellautomation.com/ja-jp.html> ）をご覧ください。

**Plex Systemsについて**

ロックウェル・オートメーション傘下にあるPlex Systems, Inc.は、クラウド型スマート･マニュファクチャリング･ソリューションのリーダーとして、世界中のメーカーの製造を支援しています。当社のプラットフォームは、製造業者がビジネスのあらゆる側面を接続、自動化、追跡、分析する能力を提供し、変革を促します。Plexのスマート・マニュファクチャリング・プラットフォームは、製造実行(MES)、ERP、品質、サプライチェーン計画・管理、設備パフォーマンス管理、生産モニタ、プロセス自動化、分析のためのソリューションを含み、人、システム、機械、サプライチェーンをつなぎ、正確さ、効率、敏捷性をもってリードすることを可能にします。

[1] <https://www.sginnovate.com/blog/trends-shaping-advanced-manufacturing-asia-pacific>

(日本語リリース：クライアント提供)